



# 一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

## 平成30年4月 マンスリー レポート

集計企業数 **55** 社

### ① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	55,742,104 万円	100.0%	99.9% (101.1%)	54,012,964 万円	98.6% (99.6%)
食 料 品	47,366,965 万円	85.0% (84.8%)	100.0% (101.5%)	46,084,455 万円	98.6% (99.9%)
農 産	7,058,366 万円	12.6% (13.2%)	98.1% (104.4%)	6,869,067 万円	96.8% (102.7%)
水 産	4,342,108 万円	7.8% (7.8%)	97.6% (98.0%)	4,222,208 万円	96.3% (96.4%)
畜 産	5,973,075 万円	10.7% (10.3%)	102.0% (102.3%)	5,802,220 万円	100.3% (100.5%)
惣 菜	5,551,203 万円	10.0% (10.1%)	101.5% (103.2%)	5,383,270 万円	99.7% (101.2%)
日配食品	10,687,680 万円	19.2% (18.7%)	100.2% (100.5%)	10,404,015 万円	98.8% (99.1%)
加工食品	13,754,533 万円	24.7% (24.7%)	100.1% (100.8%)	13,403,674 万円	98.9% (99.5%)
生活関連	3,470,197 万円	6.2% (6.3%)	99.0% (97.6%)	3,388,836 万円	98.3% (96.9%)
衣 料 品	1,670,757 万円	3.0% (2.8%)	98.2% (96.5%)	1,616,140 万円	98.5% (97.5%)
そ の 他	3,234,185 万円	5.8% (6.1%)	99.8% (101.7%)	2,923,531 万円	98.3% (99.6%)

### ② 数 値

全店総売上高	55,742,104 万円	店 舗 数	4,711 店舗
総売場面積	9,339,942.7 m <sup>2</sup>	総従業員数	250,891 人

店舗平均月商	11,832.3 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,865.9 円 (100.5%)
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	6.0 万円 (6.0 万円)	平均店舗面積	1,982.6 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	19.7 万円 (19.7 万円)	パート比率(前月)	77.1% (77.5%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・ 4月の天候は、全国的に気温が高く、降水量は東日本の日本海側でかなり多かった。  
桜の開花状況について、西日本から東日本にかけては前月に満開を迎えており、4月の花見需要は、一部の地域と北日本に限られた
- ・ 生鮮品の相場状況は、野菜の卸値が下がり、特にレタス、きゅうり、じゃがいもが安かった。畜産物は、国産の鶏肉が相場安であった
- ・ 前年と比べ、月曜日が1回多く土曜日が1回少ない曜日廻りで、客数と売上にはマイナスの影響を与えた

## 《 商品動向 》

### ○ 農産

- ・ 旬のたけのこは、前年売上を落とした裏年に当たり、好調であった
- ・ 相場安ではあったものの気温の上昇により、トマトやきゅうりなどのサラダ野菜が好調であった
- ・ じゃがいもや玉ねぎなどの土物は、単価の下落を販売点数の増加で補いきれず、売上は不調であった
- ・ 果実は、いちごやバナナ、キウイが好調であった一方、柑橘類は好不調が分かれる結果であった
- ・ 気温の上昇により、スイカやカットフルーツが好調であった

### ○ 水産

- ・ 春の旬魚では鱈やカツオが好調であったが、カツオの販売において一部アニサキスの影響が見受けられた。また、あさは不漁による入荷量減少により、不調であった
- ・ 気温の上昇により、刺身やもずく、めかぶなどの海藻類が好調であった

### ○ 畜産

- ・ 精肉は牛肉と豚肉が好調、加工肉ではサラダチキンが好調であった
- ・ 牛肉は、焼肉用とステーキ用が売上を伸ばした
- ・ 加工肉が不調であったとのコメントが見受けられた。BBQの需要がある一方、花見の前倒しによる需要の減少が考えられる

### ○ 惣菜

- ・ 気温の上昇により、涼味麺やおつまみ関連の商品が好調であった
- ・ 花見需要の前倒しにより、行楽弁当が売上を落とした

○ 日配・加工食品

- ・ 気温の上昇により、アイスクリームや飲料、チルド麺、乾麺、めんつゆが好調であった一方、練物や蒟蒻、佃煮、パンが不調であった
- ・ 花見需要の前倒しにより、ビール類が不調であった
- ・ 納豆の売上が好調であった。要因として、テレビ番組で紹介された放映効果と、4月からの一部値上げが挙げられる
- ・ インスタントコーヒーが、気温の上昇と4月からの値上げの影響により不調であった
- ・ 前年ポテトチップスの品薄報道による特需があった反動により、スナック菓子が不調であった

○ 「春の行楽、ゴールデンウィーク準備」の状況について

- ・ お出かけ準備として、ふりかけや海苔、から揚げ粉が好調であった
- ・ B B Qやおつまみ商材として、大容量の商品の動向が良かった

以 上